

1 サッカー場整備方針について

サッカーの日々の練習や試合などで、子どもや大人を問わず、町内チーム等が年間を通じて利用できるサッカー場とする。また、サッカーのみならず他種目、多世代が利用でき、多様な活用が可能な施設として整備する。

整備箇所：現在のサッカー場を人工芝に張替、夜間照明を新設

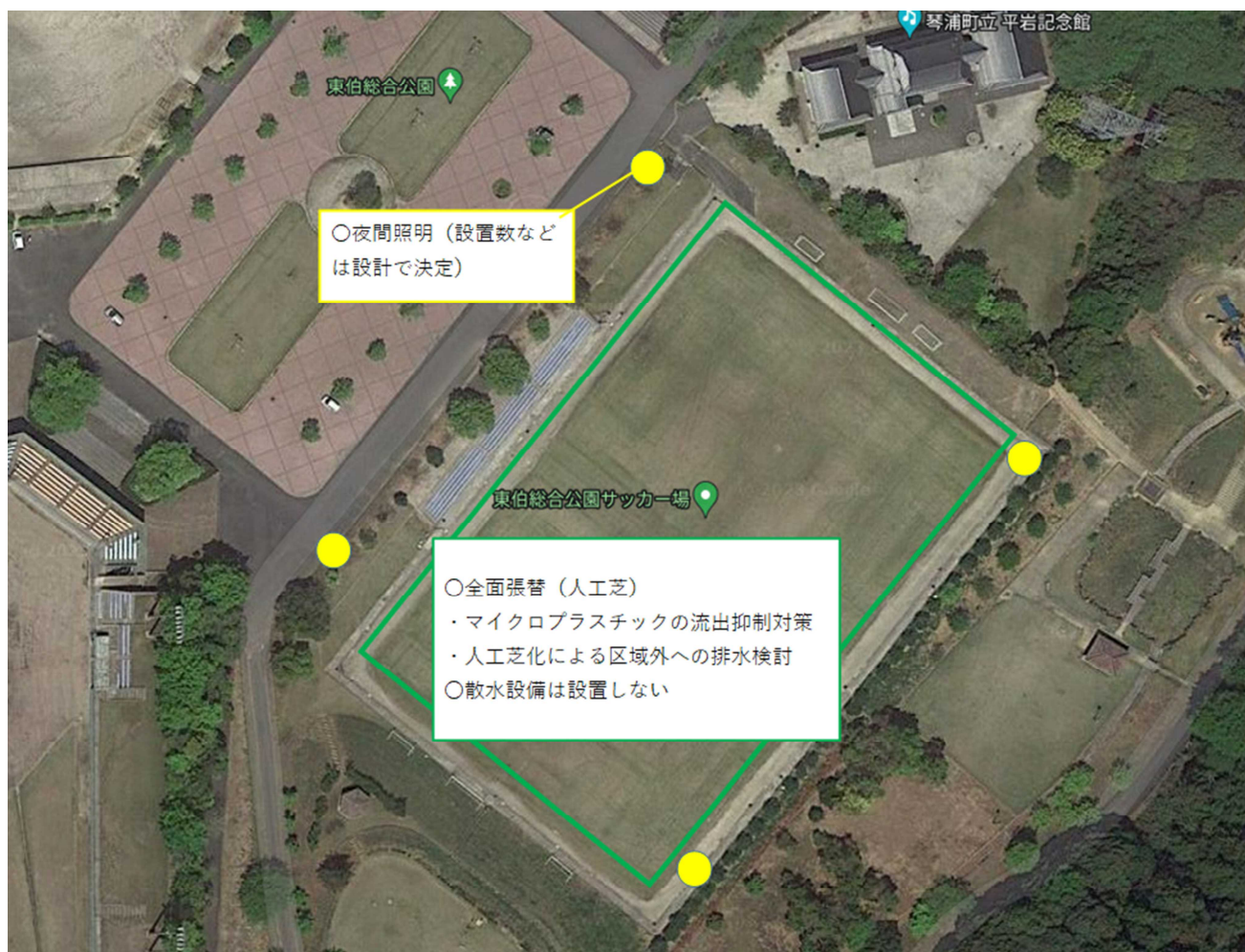
2 設計の内容

- ・サッカー場改修測量設計委託料 11,187 千円

人工芝改修に向けた調査、設計

マイクロプラスチック流出抑制策など環境対策についても設計に含める

- ・サッカー場夜間照明設計委託料 5,610 千円



3 財源について

設計費（令和5年度補正）：単町（公共施設等建設基金繰入金、一般財源）

工事費（令和6年度～令和7年度 人工芝改修・夜間照明設置）

＊工事費4億円の場合（実質町負担額8,160万円・20.4%）

サッカー協会助成金6,000万円、スポーツ振興くじ6,800万円、

過疎債27,200万円（交付税算入70%）

○助成金の内容

日本サッカー協会助成金 (地区サッカー施設整備助成)		スポーツ振興くじ助成金 (地域スポーツ施設整備助成)	
人工芝・夜間照明等 1/2 助成		芝生化新設・改設事業 4/5 助成	スポーツ施設等整備事業 2/3 助成
人工芝	上限 4,500 万円	人工芝	上限 4,800 万円
夜間照明	上限 1,500 万円	-	夜間照明 上限 2,000 万円
合計	上限 6,000 万円	合計	上限 6,800 万円

※スポーツ振興くじ助成については、同一年度に複数事業の申請ができないため、

R6年度、R7年度の2カ年に分けて申請を予定。

○助成金の申請手続き等

- ・日本サッカー協会助成金：令和6年1月の申請を予定（2カ年分）
- ・スポーツ振興くじ：例年10～11月頃にホームページで募集について公開
11月中旬～翌年1月中旬の申請受付
(R6年度分、R7年度分を各年度にそれぞれ申請予定)

4 今後の検討について

- ・その他の付属物等の整備については、スポーツ協会やスポーツ少年団指導者など関係団体との協議をふまえ、必要なものについて設計に反映。
- ・運営方法については、関係団体等と協議しながら決定。
- ・芝振興策として、他の公共施設での芝生化や、ふるさと納税返礼品としての商品化など、芝生産者団体など関係団体との意見交換等により検討したい。

5 今後のスケジュールについて

- ・サッカー協会助成、スポーツ振興くじ助成の財源を活用するため、2カ年での改修工事とする。
- ・令和6年度当初予算で、継続費としてR6～R7の2カ年の工事費（人工芝改修工事、夜間照明工事）を計上予定。
- ・サッカー場の閉鎖期間を最大2年間見込むが、供用開始の時期を可能な限り早期に、利用に影響が少なくなるよう検討したい。